



境橋全景



歌高架橋全景
(H29.3に新橋へ交通切替え)



青海跨線橋 (橋梁架替 R1.7完)



青海川橋全景

糸魚川地区橋梁架替事業平面図



両鬼橋 (架替方法として橋梁のボックス化対策を実施) (H23.3完)



大断面ボックスカルバート引き込み作業 (H22.7)



能生大橋 (橋梁架替 H25.3完)



弁天大橋全景
(H31.3に新橋へ交通切替え)



筒石橋全景 (H25.3完)



有間川橋全景



筒石橋 (新潟側径間) (抜本対策として、橋梁のボックス化対策を実施)



T'15=8,820台/12h (14,767台/24h)
T'10=7,985台/12h (13,394台/24h)



塩害発生メカニズム(例)

やがて鉄筋に塩分が到達し、錆が発生・膨張はしめず。また、錆の膨張により、内部からコンクリートが押し出され、亀裂が発生し始めます。

錆の膨張がさらに進行すると、やがてコンクリート本体が破壊され、破片の落下や橋の強度低下を引き起こします。また、破損箇所から塩分が侵入しやすくなり、新たな錆が発生します。

塩害対策の一例

コンクリート被り厚の増加

コンクリートを厚くすることで、塩分が鉄筋まで浸透する時間をばすことができます。

樹脂鉄筋の使用

あらかじめ防錆加工を施した鉄筋を使用することで、塩分による腐食を抑制します。

コンクリート塗装

コンクリート表面部に塗装を行うことで、コンクリート内部への塩分の侵入を抑制します。

電気防食

コンクリート内部または表面部に電極を設置し、電流を流すことで、鉄筋の錆部分で発生している腐食電流を消滅させ、錆の進行を抑制します。

注1)「抜本対策完了」とは、ボックス化により橋梁架替以外の方法で対策工事が全て完了した橋。
注2)「新橋へ交通切替え」とは、新橋が完成し交通切替えを行っているが、旧橋撤去等の工事が残っている橋。
注3)「橋梁架替完了」とは、対策工事が全て完了した橋。